

モモの収穫と梅の天日干し

農場前庭にあるモモの品種「みきドワーフ」が成熟し、収穫を行いました。この品種は、本校卒業生 高橋 榮治 氏が品種改良されたモモの品種で、本校農場に寄贈をしていただきました。「みき」はお孫さんのお名前、ドワーフは「矮性（わいせい、コンパクト）」で、都会の狭い庭やコンテナでも栽培することができます。

また7月21日（火）から数日間、梅を干しています。これは2年生「食品製造」によって、塩漬け、本漬けしたものです。天日に干すことによって乾燥され、酸の濃度が高くなり、果肉がさらにやわらかくなります。出来上がりが楽しみです。

